

はく よう 柏 葉 4月号



第456号
令和6年4月1日発行
社会福祉法人 柏葉会
幼保連携型認定こども園
柏原こども園



希望に満ちた出発

令和6年度は52名の園児と職員23名の構成により元気にスタートをさせて頂くこととなりました。今年度は、5歳児13名、4歳児15名、3歳児9名、3歳未満児15名、計52名（1号認定11名、2号認定26名、3号認定15名）でスタートしました。また柏原小学校内に開設している柏原児童クラブ“のびっ子”でも22名の学童と主任支援員1名と3名（ローテーション）の職員体制で子どもたちの安心できる放課後を支援させて頂いております。

近代幼児教育の父と呼ばれた教育者 倉橋惣三著『育ての心』の中の一節に

『自ら育つものを育てようとする心、それが育ての心である。世にこんな楽しい心があるうか。それは明るい世界である。温かい世界である。育つものと育てるものとが、互いの結びつきに於いて相楽しんでいる心である。—中略— それにしても育ての心は相手を育てるばかりではない。それによって自分も育てられてゆくのである。…』とあります。

子どもには自ら育つ力があり、自ら育つものを育てようとする心は、子どもにとっての成長だけでなく、関わる大人をも育てる心です。強要も無理もなく、育つ子どもの大きな力を信頼し尊重して発達に寄り添って発達を実現させる。目には見えにくいことだからこそ、誠実に向かい合って、子どもにとって本当にいい教育を探求し、実践していきたいと考えています。

今年もふるさと教育・保育の実践計画のもと色々な触れ合いを広げていきたいと思えます。園外保育に出かける時は、ふるさとに伝わる昔話を職員手作りのブラックシアターや紙芝居等にして見せ、ふるさとの温かさに触れさせたいと思っています。新たな企画も子ども達と話し合いながら取り組んでいきたいと思えます。子ども達の姿に学び、子ども達の思いに寄り添い、保育者の願いを込め、創造的に発展的に主体的教育・保育を実践してまいります。

園目標

- 自分のことがいえる子
- 生き生きと活動する子
- 仲間を大切に思える子
- たくましい子
- 最後まで自分でやろうとする子

ふるさと教育・保育

- 地域（ふるさと）をこども園の園庭と考えよう。
- 地域（ふるさと）の人々との触れ合いを大切にしよう。
- 地域（ふるさと）の伝承を教育・保育に生かそう。

ありがとう教育・保育から思いやり社会へ

- 子ども達から家庭へ、家庭から社会へと「ありがとう」の言葉で心をつなごう。そして思いやり行動へ。
- こども園で過ごす子ども達が幸せにそして家庭の幸せに、そして家庭の幸せが社会の幸せになる社会貢献をしよう。

<理事長> 谷村 啓吉 <園長> 竹中 礼子 総括主幹保育教諭 川崎 佳代子 主幹保育教諭 服部 千代 副主幹保育教諭 ・北村美世子(草野亜弥美) (0・1・2歳児) ・山本 恵美(3・4・5歳児)				
組 構 成	組	年齢	人数(名)	担 任
	ふじ	5歳児	13	岩根 明日香 ・ 寺村 亜衣
	すみれ	4歳児	15	辻村 奈緒子
	もも	3歳児	9	中川 絢葉 ・ 鷺見 由華
と	さくら	2歳児	10	秋田仁美・中畠恭子(佐野尚子)
		1歳児	5	川上 萌 ・ 米澤 友香
		0歳児	5月より順次入園	中西 純子 ・ 中川 あゆみ
職員 組 織	合計(人)	52		
<調理師> 松井 昌弥・宮川 紗千子 <栄養士> 北村 佳江 <一時預かり事業：一般型> 石田 香代子 <一時預かり事業：幼稚園型> 田中 淳子 <延長保育> 増田 ひとみ <園務員> 藤田 和子 <事務員> 西川 真砂美 <児童クラブ主任支援員> 高木 登志美 <児童クラブ支援員> 吉田 信子 ・ 堀井 百栄 ・ 梶田 みゆき <内科一般(嘱託医)>久保田 伊和男<歯科(嘱託医)>下村卓也<薬剤師>大津 栄				

保護者会役員名 (敬称略)			
会長：北村 翼		副会長：川村 智代	
組 名	3歳児 (もも組)	4歳児 (すみれ組)	5歳児 (ふじ組)
正役員名	伊藤 正浩	石田 彩	船中 俊宏
副役員名	寺村 亜衣	谷田 靖仁	徐从鋼(ジョ ツンカン)

ふるさとの香りを給食に

～四季折々の「食」と「保育」を通して子どもと大人がつながる～

様々な食材との出会いを通して子ども達は食への興味関心を広げていきます。食を通じて子ども達の心身の健康を育むために「偶発的な深まり」と「意図的な積み上げ」の両方を保育の中で大切にしたいと思います。本園では、“ふるさとの香りを給食に”と考え、ふるさとの味、昔ながらの素朴な味を大切に子ども達の身体作り・心作りの一端になればと“食育”に取り組んでいきます。また、今年度は世界にも目を向け世界の味を味わったりピクニック給食で楽しい時間を作っていこうと思っています。年長組は、米作り・菜園作りを体験し、夏野菜の苗植えをし、8月には4・5歳児が収穫した夏野菜でカレークッキングを行い、11月には芋掘りをして焼き芋パーティーを楽しみ、収穫した大根での漬物作りも行います。

行事食や郷土食を大切にしながら季節を感じる旬の野菜、果物を取り入れ食事に対する有難さ、感謝の気持ちを大切に、楽しく美味しく食べることの出来る子どもに育って欲しいと願っています。